

令和 2年度

事務事業評価表（ 令和元年度 の実績評価）

事務事業評価表（令和元年度の実績評価）						記入年月日 令和2年4月15日
事務事業名		事業区分			担当	
	歴史的風致形成建造物修理事業	新規/継続	継続	事務事業No.	050203000902	
	政策体系上の位置付け	単独/補助	補助	所属課	060201	都市整備課
政策体系	総合計画の施策名 0502 [景観の良い住環境の保全]			課長名		
	政策名 05 [快適な暮らしのまちづくり]			グループ	都市政策グループ	
	施策名 02 [景観の良い住環境の保全]			担当者名		
	手段名 03 [③景観の維持・向上]					
	財務会計上の位置付け	事業期間				
予算科目	会計 01 款 08 項 04 目 05 事業 01 紹 00 一般会計	期間限定複数年 (平成23年度～令和2年度)				
	01 08 04 05 01 00 伝統的建造物群保存地区推進事業	➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				
法令根拠	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律					

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

（1）事務事業の概要

①事務事業の概要（事務事業の全体像）		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>平成21年2月に策定し、同3月に文部科学省、農林水産省、国土交通省に認定された桜川市歴史的風致維持向上計画に位置づけた事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市所有歴史的風致形成建造物 2件 個人所有歴史的風致形成建造物 27件（補助率2/3 上限200万円） <p>※歴史的風致形成建造物は、桜川市歴史的風致維持向上計画に記載された歴史的風致に関する建造物で、10年間の一般公開の同意が得られた物件。</p> <p>現時点で、指定している建造物は、国有形登録文化財のみで、修理の要望のあった建造物のみ修理費助成している。</p> <p>平成26年度以降は、必要に応じ歴史的風致形成建造物の追加等を協議するとともに、重点区域内の市補助制度によらない建造物の修理を実施する。</p>		<p>歴史的風致維持向上計画の変更業務</p> <p>歴史的風致形成建造物の指定</p> <p>街並み環境整備事業計画・執行</p> <p>工事・委託発注・監督業務</p> <p>修理費補助業務</p> <p>歴史的風致維持向上推進協議会の開催</p> <p>歴史的風致維持向上計画の事業進捗評価</p> <p>市所有歴史的風致形成建造物の賃借料支払い</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
歴史的風致維持向上計画の変更 歴史的風致形成建造物の指定 工事・委託弁注・監督業務 歴史的風致維持向上推進協議会の開催 歴史的風致維持向上計画の事業進捗評価 市所有歴史的風致形成建造物の賃借料支払い	歴史的風致形成建造物指定件数	件	30.00	30.00	32.00	32.00	32.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
修理の必要な歴史的風致形成建造物	修理する歴史的風致形成建造物件数	件	1.00	0.00	2.00	1.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
歴史的風致形成建造物の修理	修理された歴史的風致形成建造物件数	件	28.00	28.00	30.00	31.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(2) 投入量(東洋費)の推移

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)			02年度事業費 予算(千円)		
	01 報酬	18		01 報酬	21	
	11 需用費	2		11 需用費	2	
	13 委託料	800		13 委託料	473	
				15 工事請負費	9,676	
				19 負担金補助及び交付金	4,000	
合計		820		合計		14,172

事務事業名	歴史的風致形成建造物修理事業	事務事業No.	50203000902	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?					
桜川市歴史的風致維持向上計画に基づき、修理が必要な登録有形文化財を、歴史的風致形成建造物に指定し、年間1~2棟修理する予定であったが、東日本大震災により多くの登録有形文化財が被災したため、災害復旧を目的とした修理工事を平成23年度から実施している。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 歴史的風致形成建造物は町並み景観を構成する重要な要素である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 町並み景観は公共の財産であり、その景観を維持向上させるためには公的な関与、支援が不可欠である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <input type="checkbox"/> 計画に沿って事業が進捗している。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <input type="checkbox"/> 歴史的風致維持向上計画に沿って実施しており、休止すると事業が完了せず、企図した成果を上げられなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む))
	<input checked="" type="checkbox"/> (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> → <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 伝統的建造物群保存地区事業とは適用できる範囲が異なり、統合することができない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 年次計画により最低限の事業費で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 町並み景観は地区全体の公共の財産であるとともに、市を代表する観光資源である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→ 倒壊の危険性が高まっていた旧高久家住宅の納屋と門を修復することにより安全性と歴史的風致を向上させることができた。																	
(3) 今後の事業の方向性																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																		
<div style="display: flex; align-items: center;"> (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <th>向 上</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維 持</th> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低 下</th> <td></td> <td>×</td> </tr></table></div>		コスト				削減	維持	増加	成 果	向 上			維 持	○		低 下		×
	コスト																	
	削減	維持	増加															
成 果	向 上																	
	維 持	○																
	低 下		×															

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認